

かれんと

No.39
2011.9.26

Current:カレント
時代の流れあるいは
新しい潮流

絆

あなたとは誰かと

つながっていますか

三月十一日の東日本大震災で被害に遭われた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。今回の、大震災では親戚の大切さと同じように、地縁の大切さについて深く考えさせられました。そして、震災後、私達の周りで“絆”という言葉を見たり聞いたりすることが多くなりました。

“絆”とは何かということを考えてみたとき、“絆”とは人と人との結びつきであり、助け合い支え合うことだと感じました。

最近では個人情報・プライバシーを守るため他人との付き合いに一線を画してしまい、近隣に対して無関心になっていきます。お互いが地縁を大切に近隣に関心を持っていけば、いろんな場面で協力し合ったり助け合うことができるのではないのでしょうか。



ボランティア風景(フォレストアリーナにて)

主な内容

- 絆～あなたとは誰かと
つなっていますか～
…………… P1～P3
- 鹿沼市から…………… P4
※かぬま男女共同参画プランについて
※男女共同参画都市宣言について
※女性相談窓口から
- お気に入りBook…………… P4
- ひとくちメモ…………… P4
- 編集後記…………… P4

* 「かれんと」は、ボランティア編集員が担当し、作成しています。

地域とのつながり「地縁」について人々の声を拾ってみました



ボランティア風景(フォレストアリーナにて)

50代女性 緑町 近所付き合いとプライバシー保護のバランスって、難しいですね。

70代男性 緑町 常日頃から、非常用持ち出し袋の中身も点検していて、5月には衣類を夏用に入れ替えました。寝るときは枕元に洋服を置いて寝ています。「自分の身は自分で守る」ということを心がけています。

40代女性 晃望台 もし、鹿沼で今回のような震災があったら、私は誰かに助けてもらえるのかしら？

30代女性 貝島町 どうやって地縁関係を結んでいったらいいのか、教えて欲しいわ。

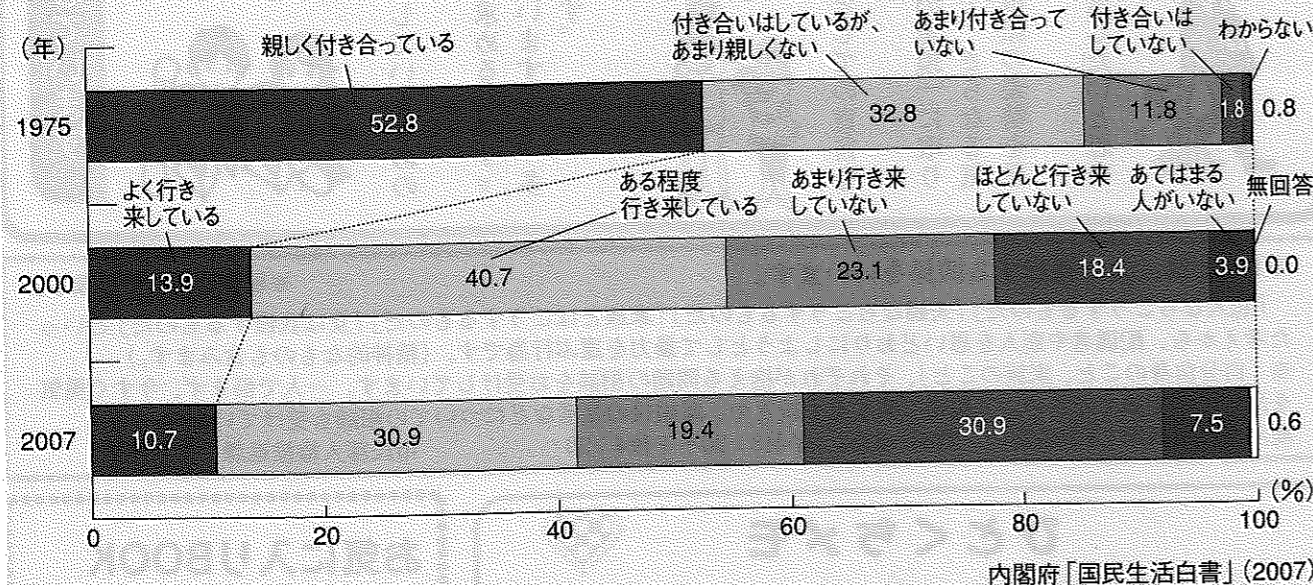
30代女性 貝島町 同じ組内でも、別に仲が悪いというわけではないんだけど、連絡先は知らないの。

50代女性 引田 地域的に隣近所が離れているから、何かあった時は、まず家族の安否が第一。今回の震災では、携帯電話がとても役立ちましたよ。

30代女性 上野町 普段から防災意識を高め、訓練を行ったり、家族でも話し合っていたら、いざというときにできないわね。

50代男性 晃望台 日頃のちよつとした付き合い合いが大事だね。隣近所が顔見知りになるきっかけになればと思い、今年は防災をかねて、自治会で芋煮会を企画しているよ。

近所付き合いの程度の推移



地域においては人間関係の希薄化が進んでいます



絆

60代男性 上野町 年に2回ほど、班で飲み会をやって親睦を深めているので、何かあった時はお互い助け合おうと思つたよ。

40代女性 緑町 今回の震災で「お互い協力して助け合おう」という言葉がすごくありがたかったです。ご近所っていいですね。

30代女性 貝島町 自治会、育成会で「手伝え」みたいに命令的に言われると、これじゃあ、動きたくないですね。

40代女性 栄町 何かあった時は、私は隣に一人暮らしのおばあさんが住んでいるので、一番に駆けつけますが、でも、近所の人で、私を助けに来てくれる人はいませんね。

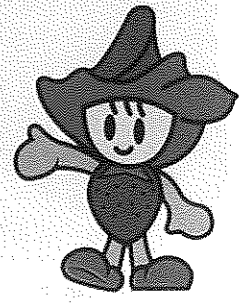
50代女性 口栗野 姑は、近隣同士お互いの家で、お茶飲み話をしていますが、私は用事で行っても玄関先で済ませてくるし、来訪されても家の中に入れないことはないわね。

30代男性 晃望台 地域から「頼りにしているよ」と言われたら、誰だって嬉しいし、素直に動くよな。

40代女性 東町 引越してきて数年になりますが、働いている為か、隣近所の人とほとんど会わないですね。

70代男性 酒野谷 勝手気ままな生活を望む若者が増えちゃって、地域性が薄れてきたなあ。

50代女性 坂田山 私は勤めているからか、近所の人と顔を合わすことはないですね。広報は郵便受けに入っているし、募金なども班長さんが集めるのではなく、したい人が班長さんに届けるようになってますから。



まとめ

表を見て分かるように2000年以降、地域の人間関係が希薄になっています。かつては、井戸端会議、茶飲み話、世間話と言って近隣同士が直接会話をすることで親密な人間関係を築いていました。

2003年5月の個人情報保護法の成立や、パソコン、携帯電話の普及などで情報は居ながらにして手に入り、メールやチャット、フェイスブック等で、直接顔を合わせることもなく世界中の人々と交流する事ができ、人間関係も昔とは様変わりしてきています。

今回の大震災後、「絆」という言葉をよく見聞きするのは、希薄になってしまった人間関係を見直す必要性があると誰もが感じたからだと思います。隣近所に関心をもつことは防災防犯での助け合い、また、家庭内暴力や子どもへの虐待、孤独死などの早期発見にもつながります。

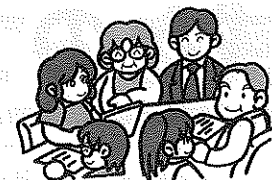
東日本大震災復興構想会議は「復興に際しては、若者・高齢者・障害者・女性などが、震災を契機に地域づくりに主体的に参加することが重要で、とりわけ男女共同参画の視点は忘れられてはならない」と提言しています。この震災でも男性の力と同時に女性の普段の知恵や知識が大いに活かされているように感じました。

一人ひとりが「地縁」について考え、絆を深めて欲しいと思います。

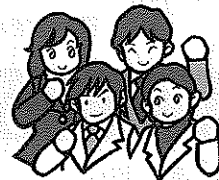
「かぬま男女共同参画プラン」を作成しています。

平成24年度から28年度までの5カ年間のプランをただ今作成中です。

このプランは、鹿沼市の男女共同参画の事業の基となるもので、市民の皆さんや事業者の皆さんと協働のもと「一人ひとりが輝き活力ある男女共同参画社会の実現」を目指して、積極的に各施策を推進していくための大変重要なプランです。



10月には、市民の皆さんに意見を求めるパブリックコメントを実施する予定となっておりますので、多くの皆さんの意見をお待ちしています。



平成24年3月4日(日)、男女共同参画都市を宣言します。

鹿沼市もいよいよ男女共同参画都市としての宣言をすることになりました。

鹿沼市を挙げて、「男女共同参画社会の実現」に取り組むことを広く市内外に宣言することで、さらなる気運を醸成すると共に、本市の積極的な取組の姿勢を発信することを目的とするものです。



当日は、市民の皆さんと共に宣言文を読み上げて宣言したいと思えますので、多くの皆さんに盛り上げていただけたらと思っています。

女も男も共に生きやすい鹿沼市をみんなで作っていきましょう。



※DVとは、力で支配する関係をいいます。

※秘密は固く守ります。

「恋人ならこうするものだ」「夫婦ならこうするものだ」「家族とはこうするものだ」「女は我慢するものだ」といった考えから、配偶者や恋人を思いどおりにしようとして暴力を選ぶ行為です。(精神的なものも含みます)

※「自分自身のこと、家族のこと」、それぞれが抱える問題の相談をお受けしています。一人で悩まず、今すぐ勇気を出してご相談ください。又離婚に関する手続きや、離婚後の生活などについての相談も受けています。

鹿沼市役所新館2F◎番窓口 ☎63-8352 午前8:30~午後4:30

市民部人権推進課 女性相談

ひとくちメモ



地縁

「縁」とはゆかり、つづきあい、えにしなどの意味があり、縁には「血縁(けつえん)」と「地縁(ちえん)」があります。「地縁」とは、地域を基礎とする社会的関係のことで、住んでいる近所との付き合いの縁故関係を言います。「血縁」とは、親子、親戚関係など血筋をひく親族を言います。他にも「社縁」という言葉があり、会社や仕事の関係のつながりを言います。

お気に入りBOOK



無縁社会

2010年11月15日 NHK「無縁社会」プロジェクト取材班 発行者：飯窪成幸

*2010年1月にNHKで放送され話題となりました。この本は、地域のあり方と人との結びつきを色々な視点から考えさせられます。

編集後記



我が家もこの震災で長い間薄れていた縁が戻りました。勇気をもって前へ進め弟よ！
「無縁社会」を読みました。今回の号を編集するにあたり、知らなかつた社会の一面を知ることができました。私の「縁」を見直すきっかけになりました。

(はむちゃん) 3月の震災で亡くなった方々のご冥福をお祈り申し上げます。改めて人々の絆の大切さに気付かせて頂いて、しっかりと生きて行きたいです。
(ハクナマタタ)

2週間、総合体育館での震災ボランティアに行つて感じたことは「絆の大切さ」でした。
(とんとん)